

逗子市健康増進計画

【事業進行管理表】



事業名	健康づくり推進事業(健康寿命を延ばしてみんなで元気な高齢者をめざす取り組み)		
【総合計画の体系】	第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち		
1-2	1	2 医療・保健・福祉が連携した安心・健康長寿のまち	

所管名	1440	国保健康課	<input checked="" type="checkbox"/> リーディング事業	<input type="checkbox"/> 基幹計画事業	計画事業費【2015~2022年度】	456,459千円
-----	------	-------	--	---------------------------------	--------------------	-----------

事業概要	目的	市民誰もが生涯を通じて活動的に生活できるように、行政のみならず市民が主体の健康づくり活動や地域で進める健康づくりを推進する。その結果、糖尿病等の生活習慣病の発症と重症化の抑止を図り、医療費の抑制に結びつける。
	対象	市民
	手段	健康増進計画に基づき、お互いの健康を支え守るための社会環境の整備、ライフステージに応じた健康づくりの促進及び市民への生活習慣病やNCD(非感染性疾患)*などの予防の啓発等、健康増進に係る事業を庁内各課との連携に加え、医師会・歯科医師会・薬剤師会・体育協会・商工会等の関係機関と協力・連携することにより、全庁的・全市的に実施する。また、併せて特定健診や各種がん検診を実施するとともに、健診(検診)結果に基づき、保健師及び管理栄養士の保健指導を推進する。

年度別計画	2019(令和元)年度	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度	2022(令和4)年度
	○健康増進計画に基づく健康づくり活動や年代別健康づくり事業等の庁内各課及び関係機関との連携による実施	→→→→→	→→→→→	→→→→→
○特定健診・特定保健指導等の実施	→→→→→	→→→→→	→→→→→	→→→→→

目標【2022(令和4)年度】	現状【2013年度末】
健康増進計画が推進され、国民健康保険被保険者一人当たりの医療費の抑制が図られている。	国民健康保険被保険者一人当たり医療費 311,144円【2012(平成24)年度末】

<2022年度 進捗状況>	事業費(2022(令和4)年度実績額)	3,012,543 円
---------------	---------------------	-------------

実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ○国民健康保険被保険者一人当たり医療費:392,460円※概算(R3:399,823円、R2:361,233円) ○健康増進計画推進懇話会:4回実施 ○健康増進・食育推進計画策定:市民アンケートを送付して現状分析。課題抽出し、取り組むテーマを設定。 ○ラジオ体操:市内ラジオ体操実施会場調査を実施。コロナ禍で半減した。(R4.7月:16か所、R1.2月:30か所) スタートセット貸出2件、サポーター養成講座4回実施(延べ計74人参加) ○健康ポイント事業(アプリを活用したキャンペーン):参加241人(R3:167人)、アプリの使い方講座:20人(R3:8人) ○未病センター利用者数:逗子市役所 633人・2.6人/日(R3:659人・3.0人/日)※予約制を継続 逗子アリーナ22,507人・72.6人/日(R3:16,540人・59.1人/日)
------	---

反省点・問題点	ラジオ体操実施会場がコロナ禍で半減した。 健康増進・食育推進計画の策定にあたり実施した市民アンケートより、運動回数や外出頻度が「どちらかといえば、減っている」人が、高齢期で4割いる。	工夫している点	コロナ禍でも個人で取り組むことができる健康づくり事業を展開した。 新たな計画策定にあたり、アンケート内容を厳選。分析に必要な数を回収した。
---------	--	---------	--

<目標【2022年度】に対する評価>			
進捗状況	結果	評価を(b)にする理由	事業評価
○一人当たりの医療費は昨年より下回る見込み。 ○昨年度から始めたアプリを活用した健康ポイント事業は昨年を上回る参加があり、幅広い層へ健康増進を意識させる手段となっている。	ア目標を達成できた		(a) 本事業の目的は達成できた

<審議会・懇話会等の意見>	<p>計画策定当初には予期されなかった感染症拡大という状況下でも工夫がなされ、目標を達成した。</p>	<p>審議会等が妥当と考える評価区分</p> <p>(a) 本事業の目的は達成できた</p>
---------------	---	--

逗子市健康増進計画

【事業進行管理表】



事業名	地域医療充実事業		
【総合計画の体系】	第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち		
1-2 2	2 医療・保健・福祉が連携した安心・健康長寿のまち		

所管名	1440	国保健康課	<input checked="" type="checkbox"/> リーディング事業	<input type="checkbox"/> 基幹計画事業	計画事業費【2015～2022年度】	949千円
-----	------	-------	--	---------------------------------	--------------------	-------

事業概要	目的	市民が健康で安全・安心な生活ができるよう、関係機関と連携し、地域医療に係る整備を行う。
	対象	市民
	手段	一般社団法人逗葉医師会、一般社団法人逗葉歯科医師会、逗葉薬剤師会、公益財団法人逗葉地域医療センター、逗子市、葉山町から選出された委員により、逗子・葉山地区医療保健福祉対策協議会を開催し、課題を検討する。各団体と連携し、課題の解決を図る。

年度別計画	2019(令和元)年度	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度	2022(令和4)年度
	○逗子・葉山地区医療保健福祉対策協議会の開催 ○在宅医療連携拠点等の推進 ・在宅医療に関する相談窓口等情報提供体制の構築 ・研修等の実施	→→→→→ →→→→→	→→→→→ →→→→→ ・在宅医療及び在宅歯科医療に係る連携拠点の本格稼働	→→→→→ →→→→→ →→→→→ ・後方支援病院との協定締結

目標【2022(令和4)年度】	在宅医療の連携拠点が完了し、機能している。	現状【2013年度末】	設置されていない。
-----------------	-----------------------	-------------	-----------

<2022年度 進捗状況>	事業費(2022(令和4)年度実績額)	21,624,100円
---------------	---------------------	-------------

実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ○多職種連携会議2回実施。(集合開催) ○多職種連携研修3回(単独開催1回、歯科医師会共催での開催2回)実施。(オンライン開催) ○逗葉地域在宅医療・介護連携相談室による、地域(介護事業所、病院等)からの相談数(実87人/述べ300件)
------	--

反省点・問題点	地域住民に向けての啓発が少ない。 コロナ禍のため、研修がオンライン開催のみとなり、参加者交流、情報交換の機会が持てなかった。	工夫している点	「逗葉地域在宅医療・介護連携室便り」を作成し、地域の医療機関や事業所に相談室の活動周知のために配布した。
---------	---	---------	--

<目標【2022年度】に対する評価>

進捗状況	結果	評価を(b)にする理由	事業評価
在宅医療と介護連携が円滑にできるように、会議等で共通の課題検討ができた。	ア目標を達成できた		(a) 本事業の目的は達成できた

<審議会・懇話会等の意見>

目標に対する評価は妥当と言える。	審議会等が妥当と考える評価区分
	(a) 本事業の目的は達成できた

逗子市健康増進計画

【事業進行管理表】



事業名		成人等保健事業		
【総合計画の体系】		第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち 1-2 4 2 医療・保健・福祉が連携した安心・健康長寿のまち		
所管名	1440	国保健康課	<input type="checkbox"/> リーディング事業 <input checked="" type="checkbox"/> 基幹計画事業	
計画事業費【2015～2022年度】			千円	
事業概要	目的	壮年期からの健康づくりと生活習慣病(脳卒中、心臓病、がん等)の予防、早期発見及び早期治療を図る。		
	対象	市民(各種がん検診・予防接種は、対象年齢に該当する者)		
	手段	胃がんや女性特有のがんをはじめとする各種がん検診や、歯周疾患検診を実施するとともに、健康増進や疾病予防のための正しい知識の普及を図ることを目的に、健康教育・健康相談を実施する。また、高齢者インフルエンザの予防接種を実施し、高齢者の疾病の重症化を防止する。		
年度別計画	2019(令和元)年度	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度	
	○若年層に対して疾患予防知識を普及する。 ○他部署や他機関と連携し、疾患予防知識を普及し、検診受診勧奨を行う。 ○がん検診受診率が前年度より高くなる。	○HP等の充実を図り、若年層や子育て世代に疾患予防知識を普及する。 →→→ →→→	→→→ ○健康教育や出前講座などの機会を利用し、疾患予防知識を普及する。 →→→	→→→ →→→
	目標【2022(令和4)年度】		現状【2013年度末】	
	若年層や子育て世代に向けた疾患予防のHPが充実している。全てのがん検診受診率が前年度を上回っている。		胃がん検診の受診率7.9%、肺がん健診の受診率12.2%	

<2022年度 進捗状況> 事業費(2022(令和4)年度実績額) 93,699,240 円

実施結果	<p>○がん検診受診率(胃がん:1.8%{R3:1.8%}、大腸がん:7.6%{R3:8.0%}、肺がん:6.0%{R3:5.9%}、子宮頸がん:7.2%{R3:7.1%}、乳がん:4.1%{R3:3.8%}) ○新型コロナウイルス感染症の流行により、医師会によるがん講演会は中止したが、「大腸がん撲滅キャンペーン」を企画し、未病センターにてクイズラリーを実施。逗葉医師会の協力を得て、市役所、図書館、保健センター、大腸がん検診実施医療機関(33施設)へ『大腸がん啓発トイレットペーパー』を配布。広報の他、育児中の親を対象にしたメールマガジン(ずし子育てわくわくメール)でも周知した。</p>		
反省点・問題点	○受診率の伸び悩み:全体的に受診率が低く、従来とは異なる周知方法を検討する必要がある。	工夫している点	コロナ禍で講演会等が中止になる中でも、関係機関や医療機関と連携したキャンペーンを実施し、健康情報に触れる機会の創出に努めた。

<目標【2022年度】に対する評価>

進捗状況	結果	評価を(b)にする理由	事業評価
大腸がん検診のみ前年度の受診率を下回ったが、他のがん検診については前年度を上回った。	イ 目標を達成できなかった	大腸がん検診を多く引き受けていた医療機関が閉院した。	(b) 本事業の目的は概ね達成できた

<審議会・懇話会等の意見>

計画策定当初には予期されなかった感染症拡大という状況下でも工夫がされており、受診率向上に向けた取り組みを行った。今後はこの状況下で課題だったことを踏まえ、次につなげる取り組みを推進して欲しい。	審議会等が妥当と考える評価区分
	(b) 本事業の目的は概ね達成できた

逗子市健康増進計画

【事業進行管理表】



事業名		特定健診・特定保健指導事業		
【総合計画の体系】		第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち		
1-2 3		2 医療・保健・福祉が連携した安心・健康長寿のまち		
所管名	1440	国保健康課	<input type="checkbox"/> リーディング事業	<input checked="" type="checkbox"/> 基幹計画事業
計画事業費【2015～2022年度】				千円
事業概要	目的	生活習慣病の前段階であるメタボリックシンドロームの対象者や予備軍となる人を早期に選定し、内臓脂肪型肥満を解消するための生活習慣改善の支援を行い、糖尿病等の生活習慣病の発症と重症化の抑止を図る。		
	対象	40歳から74歳までの逗子市国民健康保険の被保険者		
	手段	一般社団法人逗葉医師会と連携し、特定健診・特定保健指導を実施する。		
年度別計画	2019(令和元)年度	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度	2022(令和4)年度
	○目標値 特定健診受診率 34% 特定保健指導実施率12% ○特定健診の結果に基づき、生活習慣病リスクの高い対象者に対して専門職が保健指導を実施する。	○目標値 特定健診受診率 36% 特定保健指導実施率14% ○医療機関と連携した、通院中の方の受診勧奨 ○KDBを用いた受診勧奨	○目標値 特定健診受診率 38% 特定保健指導実施率16% →→→→→→→→→→ →→→→→→→→→→	○目標値 特定健診受診率 40% 特定保健指導実施率18% →→→→→→→→→→ →→→→→→→→→→
	目標【2022(令和4)年度】		現状【2013年度末】	
	特定健診受診率が40%、特定保健指導実施率18%になっている。		特定健診受診率 30.7%	

<2022年度 進捗状況> 事業費(2022(令和4)年度実績額) 37,624,899 円

実施結果	<p>○令和4年度特定健診受診率:31.2%(速報値:令和5年3月23日現在) 令和3年度同時期速報値(令和4年3月23日現在)30.3%より0.9ポイント上回っているが、令和3年度確定値31.5%より0.3ポイント下回っている。なお、県平均の受診率は、23.0%(速報値:令和5年3月23日現在)</p> <p>○令和4年度特定保健指導実施率:7.5%(速報値:令和5年3月23日現在) 令和3年度の同時期速報値(令和4年3月23日現在)10.9%よりも3.4ポイント下回った。 なお、令和3年度の確定値は、24.6%。 ※県平均の実施率:1.4%(速報値:令和5年3月23日現在)。令和3年度の確定値は、10.8%</p>		
反省点・問題点	<p>○受診率の伸び悩み:県平均23%より上回ったが、令和4年度の目標値(40%)より下回り、更なる受診率向上の取り組みが必要。</p> <p>○特定保健指導実施率の下降:令和2年度の初回分割実施開始後年々上昇傾向だったが、この2年は下降傾向である。</p>	工夫している点	<p>○受診行動に応じ4種の受診勧奨を実施。</p> <p>○オンラインでの特定保健指導を導入。</p> <p>○特定保健指導で初回以降連絡つかない者へ、文書での実施状況確認を実施。</p>

<目標【2022年度】に対する評価>

進捗状況	結果	評価を(b)にする理由	事業評価
○昨年度よりも特定健診受診率・特定保健指導実施率が下回り、また目標値には至っていない。	イ 目標を達成できなかった	コロナ禍で受診率が伸び悩んでいるが、受診勧奨の工夫やオンライン対応の導入などを行い、県平均の受診率を上回っている。	(b) 本事業の目的は概ね達成できた

<審議会・懇話会等の意見>

<p>特定健診受診率は目標値に至っていないものの、コロナ禍でもできることを工夫して実施している。今後さらに発展させて欲しい。</p>	<p>審議会等が妥当と考える評価区分</p> <p>(b) 本事業の目的は概ね達成できた</p>
--	--

返子市健康増進計画

事業名 総合的病院誘致事業				
【総合計画の体系】		第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち		
1-2 3		2 医療・保健・福祉が連携した安心・健康長寿のまち		
所管名	1440	国保健康課	<input checked="" type="checkbox"/> リーディング事業 <input type="checkbox"/> 基幹計画事業	計画事業費【2019～2022年度】 1,965千円
事業概要	目的	本市にふさわしい総合的病院を誘致することにより、在宅医療の連携体制づくりや救急・災害時医療の確保をし、市民が安心して暮らせる医療体制を確立する。		
	対象	市民		
	手段	状況に応じた、総合的病院誘致に関する検討会や市民説明会の開催による意見聴取を実施し、ご意見シートによる市民意見の募集、広報や市ホームページ、各施設での進捗状況の周知を行う。また、医師会・歯科医師会・薬剤師会や県など関係機関等との調整・協議を図る。		
年度別計画	2019(令和元)年度	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度	2022(令和4)年度
	○総合的病院誘致に関する検討会の開催	→→→→→	→→→→→	→→→→→
	○県保健医療福祉推進会議等への出席	→→→→→	→→→→→	→→→→→
	○市民説明会の開催	→→→→→	→→→→→ ○基本協定の締結	→→→→→ ○開設
目標【2022(令和4)年度】			現状【2019(令和元)年7月末】	
総合的病院が開設されている。			開設されていない。	

<2022年度 進捗状況>

事業費(2022(令和4)年度実績額)

228,710 円

実施結果	○国や県、在宅医療などに詳しい医師をコーディネーターに迎え、「返子市の地域医療を考える」をテーマに市民、医師会、行政で話し合う場をシンポジウム形式で2回(7月24日、2023年2月26日)開催。日本や神奈川県、三浦半島地域における医療の現状や動向について、皆で共有した。		
反省点・問題点	○現在の医療情勢や地域医療の現状などについて共有することができたが、今後は現状を踏まえた具体的な検討を行う必要がある。	工夫している点	○令和5年度からは、シンポジウム形式から検討会形式に変更し、この先の返子市の地域医療にかかる具体的な話し合いを進めていく予定である。

<目標【2022年度】に対する評価>

進捗状況	結果	評価を(b)にする理由	事業評価
○市民、医師会、市で現在の医療情勢や地域医療の現状などが共有できたとともに、市民アンケートの結果や会場での質問・意見についても共有することができた。	イ 目標を達成できなかった	総合的病院誘致は白紙に戻ったが、国や地域の現状を共有し、返子市の地域医療を検討する場ができた。	(b) 本事業の目的は概ね達成できた

<審議会・懇話会等の意見>

市民が安心して暮らせる医療体制を検討していることは認められるが、目標が「総合的病院が開設されている」である以上、結果としては「達成できなかった」となる。 経過の評価ができないため、「開設」を目指す理由や内容を明記した目標設定が望ましい。	審議会等が妥当と考える評価区分 (c) 本事業の目的は達成できなかった
---	--